

資料—1

第1回委員会委員意見への対応状況

1. 第1回委員会委員意見への対応状況

平成25年1月17日

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

1. 第1回委員会委員意見への対応状況

1 委員会の設立

・設立趣意

No.	主な意見	対応状況
1	「鬼の舌震」については「国指定の名勝・天然記念物の「鬼の舌震」に修正してもらいたい。	●設立趣旨の文章を修正することで、承認済み
2	「イベントが行われている。」を「イベントが行われています。」に修正してもらいたい。	●設立趣旨の文章を修正することで、承認済み

2 議事

・尾原ダム水源地域ビジョンの策定手法

No.	主な意見	対応状況
3	「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会（仮称）」のメンバー選定については、事務局に一任する。	●雲南市、奥出雲町などに地域住民や地域活動団体等から選定していただいたメンバーで構成する「さくらおろちを活性化する会」を設立した。 ・参考資料-3:「さくらおろちを活性化する会」メンバー表

・尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の目標像・基本方針

No.	主な意見	対応状況
4	水源地域ビジョンの策定経緯については、上下流で実施されているイベントなどにおいて、積極的にPRを行う。	●委員会で説明済み 策定経緯については、上下流のイベントなどで周知することを説明。 【PRの実施状況】 ① イベント ・「尾原ダムさくらおろち湖祭り 2012（第8回開催）」でのビジョン広報コーナーを設置 ② 広報 ・ホームページの開設、リンク設定（出雲河川事務所、尾原ダム管理所、島根県、雲南市、奥出雲町） ・「尾原ダム便り」の発行、配布（第5号・第8号） ・「尾原ダム水源地域ビジョンニュース」の発行、配布（創刊号～第4号） ・雲南市、奥出雲町が発行する公報への掲載 ・地域マスメディア（雲南夢ネット・新聞社）に放映、掲載

No.	主な意見	対応状況
5	基本理念については、本委員会の委員の意見を踏まえ事務局で整理を行い、作業部会での議論を踏まえ、委員長承認のうえ第2回委員会において報告する。	●「さくらおろちを活性化する会」で議論した「基本理念」で委員長承認済み。
6	地域の目標像については、「斐伊川流域圏の連携による尾原ダム周辺地域の自立的・持続的発展」とする。作業部会でも意見を聞いてみることに。	●「さくらおろちを活性化する会」で議論した「地域の目標像」で委員長承認済み。
7	基本方針については、尾原ダムらしさを組み入れた表現とし、作業部会での議論を踏まえ、委員長承認のうえ第2回委員会において報告する。	●「さくらおろちを活性化する会」で議論した「基本方針」で委員長承認済み。

・水源地域ビジョン策定に向けた意見交換

No.	主な意見	対応状況
8	地域の方々との合意形成の図られた計画として水源地域ビジョンを策定してほしい。	●（No.3のとおり）
	なお、水源地域ビジョンづくりを通して、上流域の各種団体あるいは住民組織が連携することを願っている。	○今後検討しつつ、随時実施していく。
9	さまざまな流域の地域づくり、あるいは上下流連携のあり方を模索する事業として、斐伊川・神戸川流域における「命の絆づくり事業」を展開しており、この事業のノウハウを水源地域ビジョンの策定に活かしていただければと思う。	●「さくらおろちを活性化する会」のメンバーには、「命の絆づくり事業」に携わっている方もおられ、ノウハウ等を發揮していただいている。
10	地域住民や関連団体が自ら策定したという手作り感が必要であると考えている。	●（No.3のとおり） ●また、策定状況等については、広報等で積極的にお知らせしている。
11	地域で活動している方がいるが、地域住民の大部分にとって、活動を実施しているという認識がないため、下流域への広報も重要であるが、地元にも周知する必要がある。	●尾原ダム便りやニュースレターなどを地元自治体や公民館、道の駅等で配布している。 ○ニュースレターを雲南市（旧木次町）や奥出雲町（旧仁多町、旧横田町）の回覧板を活用し、自治会等への回覧を予定している（2月）。

●対応済、○対応中

No.	主な意見	対応状況
12	平成 17 年度に策定された『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』には地域住民の意見が反映されている。今後設置される作業部会では『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』の内容を作業部会のメンバーへしっかり説明し、理解していただいたうえで、検討を行っていただきたい。	●「第 1 回さくらおろちを活性化する会」において、『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』の整備内容の説明を行った。
13	これまで「尾原ダム地域づくり推進連絡協議会」が行ってきた地域づくり検討との整合性を図りビジョンづくりを行う必要がある。	●「第 2 回さくらおろちを活性化する会」において尾原ダム水源地域で実施されている主な活動を説明し、取組内容等の提案を頂いた。
14	斐伊川流域での水源地域ビジョンの合意形成のためにも、作業部会のメンバーについては、広く意思疎通が図れるようなメンバー選定が必要である。	●（No.3 のとおり）
15	作業部会のメンバーは、地域の意向が反映されるように選定する必要がある。	●（No.3 のとおり）
16	尾原ダムならではの水源地域ビジョンとなるように、表現も含め検討してもらいたい。	○「さくらおろちを活性化する会」で尾原ダムならではの取組を提案いただいております、本委員会で承認を頂く。
17	ビジョン策定にあたっては、地域が豊になるような、或いは賑やかになるようなアクションプランを入れていただきたい。例えば、ダム堤長道路を含む 4 箇所のさくらおろち湖面の横断橋梁の活用、周辺地域の歴史や伝統文化等を組み合わせた活性化方策など。	○「さくらおろちを活性化する会」で地域が豊かになる、賑やかになる 55 のプロジェクト（案）を提案いただいております、本委員会で承認を頂く。
18	上下流交流に力を入れてやって頂きたい。それが中流下流の治水事業の進展にもつながる。	○「さくらおろちを活性化する会」で上下流交流の活性化につながるプロジェクトを提案いただいております、本委員会で承認を頂く。
19	県としても自転車競技施設やボート競技施設の管理を行うと共に、それらの施設をビジョンづくりの中で活用できるよう協力したい。	○「さくらおろちを活性化する会」で自転車競技施設やボート競技施設を活用するプロジェクトを提案いただいております、本委員会で承認を頂く。

●対応済、○対応中

No.	主な意見	対応状況
20	「尾原ダムならではのとはなにか」を明らかにし、水源地域の潜在ポテンシャルを明確にしていくことが重要であると考えている。	○「さくらおろちを活性化する会」で「守りたい資源」や「活かしたい資源」を検討し、尾原ダムらしいプロジェクトを提案いただいております、本委員会で承認を頂く。
21	尾原ダムは、構造物としての機能に基づいて建設されてきたが、今後はその構造の美しさをみてもらう工夫をする必要がある。	○「さくらおろちを活性化する会」で尾原ダムの構造の美しさをみてもらうプロジェクトを提案いただいております、本委員会で承認を頂く。
22	水源地域ビジョンは、基本理念とアクションプランをとりまとめた形となっているが、まずはやってみることが大事であり、アクションプランが重要である。	○「さくらおろちを活性化する会」で1年目から実施する「先行プロジェクト」として41のプロジェクトを提案いただいております、本委員会で承認を頂く。
23	尾原ダムがなぜ建設されたかを念頭に置き、「斐伊川・神戸川治水事業3点セット」の早期完成につながるよう、上中下流交流などを水源地域ビジョンの中に盛り込んでいく必要がある。	○「さくらおろちを活性化する会」で上中下流交流につながるプロジェクトを提案いただいております、本委員会で承認を頂く。

●対応済、○対応中